

令和3年度 支え合いをひろげる 住民主体の生活支援フォーラム 開催要綱

1. 趣 旨

新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、私たちの生活を大きく変えました。国が示す「新しい生活様式」を基本として、3密の場所を避けるなど適切な感染防止対策が求められています。外出の自粛やイベントの開催の自粛、そして人との接触を減らすことが求められるなど対面での活動が難しくなりました。

住民主体の生活支援活動は、これまで人と人の関係性を大切にし、つながりや支え合う関係を大切にして取り組みを展開してきました。しかしこの感染症の影響により、団体の活動の自粛、イベントの中止など集まる機会が減り、一方で自分自身の健康や暮らしへの不安を抱えながら活動を継続するモチベーションの低下による参加の機会が減るなど助け合いの活動にも影響を与えました。

そうした状況の中 with コロナの社会における住民主体の生活支援活動は、地域とのつながりを切らさないために何ができるのかを考え、工夫しながら活動を継続させたり、新たな活動スタイルを生み出している団体の実践などを参考にしながら、住民主体の生活支援サービスの継続と発展を考えます。

2. 主 催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

3. 共 催 住民参加型在宅福祉サービス全国連絡会
一般社団法人 全国食支援活動協力会
特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク

4. 開催日 令和3年10月20日（水）

5. 会 場 オンライン会議（ZOOM内）
※WEB視聴により開催

6. 参加対象

- ・生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）
- ・住民主体による生活支援のサービスや活動に関心のある方
- ・助け合い活動、生活支援サービスを行うNPO、ボランティア団体、関係団体

- ・生協、農協、社会福祉協議会等関係者
- ・行政・自治体関係者

7. 参加定員 400名 ※分科会ごとに定員があり、それぞれ定員になり次第、締め切りとさせていただきます
 第1分科会：150名
 第2分科会：150名
 第3分科会：100名

8. 参加費 無料

9. 申込締切 令和3年10月11日（月）
 ※締切日以降も、定員に達するまで申込をお受けします。

10. プログラム

【第1部 全体会】13:00～14:00

時間	内容
13:00	開会
13:05～13:55 (50分)	<p>【基調講演】 コロナ禍だからこそ、“人と人とのつながり”がもたらす影響（仮） 新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、人々の自由な移動や交流は制限され対面での活動を難しくし、自粛生活による悪影響はフレイル状態に進む人を増加させました。 そのような状況の中、住民主体の生活支援サービスでは人とのつながりを継続させるための工夫を行い活動し続けてきました。 こうした人とのつながりが希薄化するなかで、あらためて“人とのつながり”、“地域とのつながり”の大切さを学び、これからのwithコロナ時代の“人と人とのつながり”から住民主体の生活支援サービスの継続と発展を考えます。 講師：樋口 恵子 氏 （NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長）</p>
13:55～14:00 (5分)	移動・休憩

【第2部 分科会】14:00～17:00

＜第1分科会＞ 担当：住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会

テーマ：with コロナ時代における助け合い活動の展開

～生活支援コーディネーターとの“つながり”から考える～

新型コロナウイルスが広がり、私たちの生活は大きく変わらざるを得なくなっています。これまでも私たち住民参加型在宅福祉サービス団体ではさまざまな地域のニーズに寄り添い、助け合い活動を展開してきました。

with コロナ時代の社会において、住民主体による生活支援サービスにはどのような取り組みが求められるのか。実践報告者からコロナ禍で生み出された新たな取り組みから生活支援コーディネーターとの連携など、これからの住民主体による生活支援サービスの活動について参加者と共に考えます。

時間	内容
14:00～14:15 (15分)	【基調報告】(住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会による活動報告) 「コロナ禍における助け合い活動等についての実態調査」等活動報告 田中 将太 氏 (住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 副代表幹事)
14:15～15:10 (55分)	【実践報告】 「生活支援コーディネーターとの“つながり”の実際」 ◆実践報告者 隅田 耕史 氏 (NPO 法人フェリスモンテ事務局長・大阪府) 川辺 裕子 氏 (さわやか港南代表・神奈川県) ◆コーディネーター 田中 将太 氏
15:10～15:15	休憩
15:15～16:15 (60分)	【意見交換会】 【すすめ方】1グループ7～8名程度 【討議内容】 テーマ1：コロナ禍の住民主体の活動を地域の中で推進していくための活動団体、行政、協議体、SC、社協、地域包括支援センター等の「つながり」の実際、課題、工夫 テーマ2：自身の団体での人材不足や後継者等についての課題や工夫
16:15～16:20	休憩
16:20～17:00 (40分)	【まとめ・全体共有】
17:00	【閉会】

＜第2分科会＞ 企画担当：一般社団法人 全国食支援活動協力会

テーマ：多様な食支援活動の実践と活動支援のしくみづくりについて

コロナ禍により、地域の食支援活動に対するニーズが広がっています。各地の食支援の実践者にご報告いただき、今できる食支援のノウハウを共有します。また、地域の食支援活動を支援するために、全国食支援活動協力会では、「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」という居場所づくり活動支援のための全国的な食支援活動を展開しています。こちらの活動を通じた他機関との連携の取り組みを通じて、今後の多様な食支援の展開について考えます。

時間	内容
14:00～14:30 (30分)	【基調報告】子どもの居場所づくり活動支援「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」について ・平野 覚治 氏（一般社団法人 全国食支援活動協力会 専務理事） （事例）北九州市におけるロジハブ活動の実践について ・長迫 和宏 氏（北九州市戸畑区役所総務企画課イベント担当係長）
14:30～15:40 (70分)	【実践報告】キーワード：多様な食支援活動について、学習支援と食支援、地域共生の居場所づくり「地域マルシェ」、コロナ禍における配食・子ども食堂の活動について ◆実践報告者 ・田口 吾郎 氏（NPO 法人いるか代表・福岡県） ・下川原清美 氏（NPO 法人さっぽろ福祉支援ネットあいなび理事長・札幌市） ・川口雅香子 氏（NPO 法人友、友 代表理事・大阪府） ・近藤 博子 氏（一般社団法人ともしび at だんだん代表理事・東京都） ◆コーディネーター ・平野 覚治 氏（一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事） ・石田 惇子 氏（支え合う会みのり副理事長／全国食支援活動協力会代表理事）
15:40～15:50	【休憩】
15:50～16:50 (60分)	【情報交換会】 【すすめ方】1 グループ 5～6 名程度 30分×2回 【グループ分け】 A.居場所、学習支援／B.配食、会食、共食／C.子ども食堂／D.食支援のしくみづくり
16:50～17:00 (10分)	【おわりに】
17:00	【閉会】

＜第3分科会＞ 企画担当：特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク

テーマ：こんな時だからこそ移動支援でみんな元気に！

交通が不便な地域の増加や運転免許の返納などによって、閉じこもりがちな高齢者が急増しています。コロナ禍により住民主体の移動支援活動は停滞しがちですが、それでも日々新しい取組が生まれています。月 2 回程度でも、移動支援で買い物することが貴重な交流機会になっています。車中で話すといったささやかな外出行動が、孤立・孤独を防ぐ役割を果たしています。新しい取組が、どのようにして生まれ継続しているかを、生活支援コーディネーターや活動を始めたいと考えているみなさんと学びます。

時間	内容
14:00～15:25 (85分)	【実践報告】 「生活支援コーディネーターとして移動支援にどう関わってきたか」 ◆実践報告者 藪田 栄和 氏 (西伊豆町社協 生活支援コーディネーター・静岡県) 亀井 伸幸 氏 (那賀町社協 第一層生活支援コーディネーター・徳島県) 鈴木 雄 氏 (備前市社協 第一層生活支援コーディネーター・岡山県) 宮田 太一郎 氏 (国東市 第一層生活支援コーディネーター・大分県)
15:25～15:35	休憩
15:35～15:50 (15分)	【報告】 「関係法制度やしきみづくりに必要な知識」 伊藤 みどり 氏 (全国移動サービスネットワーク 事務局長)
15:50～17:00 (70分)	【グループディスカッション】 5つのテーマで10人程度グループにわかれ、事例をもとに質疑・意見交換します。 ・“総合事業”の補助金を活用した移動・外出支援の事例 ・生活支援体制整備事業を活用したサービス創出や担い手発掘の取組 ・過疎地における住民主体の移動・外出支援の課題 ・社会福祉法人との連携による買い物支援・サロン送迎の取組 ・住民が外出支援と地域づくりに幅広く積極的に取り組んでいる事例
17:00	【閉会】

1.1. 申込方法

住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会ホームページの「申込フォーム」からお申込みください。

<https://www.sankagata.net/> 住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会で検索

※申込フォームには「希望する分科会」を選択する項目があります。必ず第二希望までご記入ください。（各分科会には定員を設けています。希望する分科会が定員を超えた場合は第二希望で調整する場合がありますのであらかじめご了承ください。）

※視聴する分科会会場の決定およびZOOMの入室用URLのご案内については、お申込み時のメールアドレス宛に10月15日（金）までにお知らせいたします。

※当日の資料については、お申し込み時のメールアドレス宛に10月18日（月）までにお知らせいたします。

1.2. 個人情報の取り扱い

「参加申込書」に記載された個人情報は、運営管理の目的のみで使用し、他の目的で使用することはありません。

個人情報の管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

<フォーラムの内容に関するお問い合わせ先>

全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター（担当：由利、吉本）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3581-4656 FAX. 03-3581-7858

Eメール sankagata@shakyo.or.jp